

第 5 計;中国人は何故小さな成功の喜びに満足できないのか?(平凡な  
幸せに満足できないのか?)

—中国に経済の世界概念 (GDP) が導入されて 9 年、経済学小学校 4 年生—

確かに中国経済の発展スピードが速く、故に若者にとっては“ビジネスチャンス”がたくさんあるように思います。

A ; 国策での経済成長、B ; 為替の元高への圧力、C ; 地方  
政府の地方債発行の解禁・・・私は、中国政府は中国経済に於ける経済成長の構成を変えてくると予想しています。日本が経験したようにマンション等不動産開発の融資枠は絞られ、マンション価格は下落すると思います。実需ではなく、投機であるからであります。株に“人の行く裏にあり花の山”という諺があります。「人が儲かると思  
って投機に走る人が多い場合、逆に反対の行動をせよ」という意味  
です。

嘗て私は、「現金で 20 億円の相続税をどうしたらよいか」との相  
談を受けたことがあります。当該ケースは、華僑の主人と日本人妻、  
その間に二人の子供（三人子供がいたが一人は死亡）がおり、職業  
は中華店の経営でありました。日本のバブル時に、不動産を売って  
借家に入りました。そのまま預金したのであります。別の不動産を  
買わなかったのです。日本人の妻は“平凡”を選んだのです。彼女

は書道、ゴルフ等の趣味を選びました。

しかし、現金・預金すべて主人名義で妻の預金は殆どありませんでした。彼女は、戦後（まもなく）華僑の人と結婚したのであります。私は結婚後の財産形成の歴史的過程を考古学的に調べました。要するに「事業の元々の投資資金はいくらか」ということが肝心です。その結果、“30%が日本人妻の投資”ということを立てし、相続税をかなり減額できたのであります。

私は、日本の古い女性には“財産を自分名義にしない習慣”のあることを知っておりました。「家長・所帯主制度」があったからです。

現在の中国は、政府軍事面に関する投資は10%成長を維持させるでしょうし、農業改善投資、医療施設改善投資、上下水道施設への投資等々も・・・。

私は、中国富裕層もマンション投資を早くやめて、利益を確定して、“平凡な幸せ”に戻ったらよいと思います。極端な話、早く利益を確定した方が、平凡でも“人生の幸せな生活”が得られると予言するのであります。

都会の中国人富裕層は子供を留学させたりして、夫婦バラバラに仕事をしており、然もそういう人達は1億以上のマンションを所有しています。

趣味が投機になり、世界の不動産と資源を買い漁っている人達も増殖しております。夫婦仲は良いけれど完全な“ビジネスパートナー”になっています。バックには中国国家ファンドがついているケースも多く、私にも数人知人がいますので、「そんなに儲けて何に使うの」と聞くと、一組の夫婦は「子供が結婚

して孫をたくさん作って孫に投資をする」と言ったのには吃驚したこともあります。ヨーロッパ型の新コンツエレン（企業集団）ができるかも知れない。また一組の夫婦は「何のボランティアがいいかを考えている」と言いました。でも彼らは、資源も不動産だと思っています。日本の不動産業者は資源を不動産とは思っていません。日本の場合、資源は資源で、その分野は総合商社が行っているのは周知の通りであります。

このような都会の超富裕層は極めて例外的別格として、中国の一般人は“生活保証の平和”がなくて“平凡”になれないという現実があります。55歳まではなにがなんでも体が元気な限り働き続けます。この様な若者は、生論（生き抜き方の理論）で生きており、このバイタリティは他の国民にはないものと思います。流石に私も、意見がなく見守るしかないのであります。

今世界各国は自国通貨価値を引き下げて表面的な輸出競争力を上げようとしています。そして、“中国は元高を世界と妥協しない”と思います。中国を後進国とするのは間違いであり、先進国としてWTO(世界貿易機構)が認めなくてはならない。環境問題においても・・・。

最近日本人の飲食店経営者（個人）の会社整理依頼が多い。昔独立志向者であった日本人であります。しかし、現在の日本人の若者には独立志向者は少ないようで、殆ど私の事務所でみかけませんが、日本にいる中国人の独立志向の若者が多く相談にきます。

実に複雑な心境です。2010/10/16